

第2回宮代町総合計画審議会議事録

1 開催日時

令和元年7月18日（木）午後7時00分～午後9時00分

2 開催場所

進修館 小ホール

3 出席者

（委員）

折原正英委員、吉澤久美子委員、鈴木和子委員、並木誠委員、秋山高善委員、
小林俊介委員、佐々木敦子委員、佐々木誠委員、難波悠委員、保科寧子委員、
八木橋孝雄委員、高津絵里委員、松山仁委員

（欠席）

なし

（事務局）

栗原企画財政課長、伊東副課長、榎本主幹、小川主査、立見主任

（関係課職員）

石塚まちづくり建設課長、室田副課長、高橋主査

（コンサル）

牧野、菊地

4 次第

1 開会

2 会長代理の指名

3 宮代町の10年後を話し合うワークショップ（総合計画審議会版）

4 基礎調査結果について

5 その他

6 閉会

5 議事（要旨）

（１）開会

（２）会長代理の指名

事務局より折原正英委員を会長代理に指名することの報告があった。

（３）宮代町の10年後を話し合うワークショップ（総合計画審議会版）

ワークショップの進め方について、事務局よりパワーポイントを用いて説明を行い、ワールドカフェ方式で実施した。当日あげられた意見・アイデア等は別紙の通り。

また、ワークショップ終了後の参加者の感想は以下の通り。

佐々木会長 町民ワークショップにも参加させていただいたが、今回は時間が短かったこともあり、その時の方が意外性のある意見が出ていたかもしれない。今日は、話には聞いていたが、宮代産の蕎麦があるということで何かに活かそうだなと思った。

折原委員 皆さんとお話しをして河川や用水路について、宮代の原風景というような意見も出て、「そういう視点もあるのか」と感心した。

秋山委員 宮代に住んでいる人からすると当たり前のことだが、外から見ると発見があると感じた。

松山委員 皆さんと話をしてみても、不便なところや要望はあるのだが宮代に住んでよかったと思っている人がほとんどであるところが印象的だった。

難波委員 意外と町の中で生活が完結できている。都会から見ると郊外なので皆商店を求めているのかなと思いきやそうではない。そういう点でも満足されているのかなと思った。

鈴木委員 新しい発見がたくさんあった。町民の声が行政に届きやすい良い町だということと、親しみを感じるということが印象に残った。また、桜が多いこと、自然がたくさん残されているということに感激した。

八木橋委員 私自身自然環境保全に関係する活動をしているが、改めて宮代の自然はいいなと感じた。川を望む自然ももっといいところがあると思う。ぐるる宮代の辺りの川、隼人堀川、宮東と清地橋の間の川など、そのあたりの土手も生かせればと思った。

牧野 素晴らしい資源がたくさんあるが、みなさん隠しているというか、意外と公表されていないような気がする。いろいろな社会貢献をされている方もたくさんいるので、地域資源と人をどう結び付けて、いかに活性化につなげるか。そのプラスアルファをどうするかが今後の課題だと思う。

小林委員 東武動物公園の立場から参加させて頂き、耳が痛い部分も多々あった。役場、東武動物公園、新しい村についても、知られていない部分がか

りあるのだということ認識した。

菊地

一番印象に残っているのは、役場の職員の方と町民の距離が近いという意見が多く挙げられていたこと。また、新しい村やはらっパークなど、子どもが思い切り走り回れる芝生の広場があるのが子育て世帯にも魅力なのかなと感じた。

並木委員

宮代町の新しい動きとして、若い人が出店しているという声が聞かれた。町の魅力としてこういう場でたくさん出てくるというのは良いことだと思う。

保科委員

「さいかつボール」というものを初めて知って、大人も子供も楽しめて盛り上がるのではないかと可能性を感じた。町役場も若者を呼び込んだり、非常に可能性を秘めたところだと思っているのでご活躍を期待している。

高津委員

子育てをしながらダブルワークをしており、普段は生活するので手いっぱいだが、今回ワールドカフェに参加することで宮代町の魅力をいろいろな方から教えて頂いた。もっと情報発信をしていく必要があると感じた。空がきれい、自然が豊かで子どもを連れていける場所がたくさんあり、引っ越してきてよかったと思う。「さいかつボール」も運動会などで取り入れてくれるとよいと思った。

吉澤委員

参加してみて、宮代町の方は行政の方も子どもも大人もお年寄りも、年齢を問わず協力的だと思った。また、日工大の学生がびっくりするほど町に貢献してくれている。これだけの人材をもっと魅力的に輝かせるためにはどうすればよいか。人はもういるのでそれを活かせるようなまちづくりが必要と感じた。

佐々木委員

宮代マルシェ実行委員として関わる中で、町民のやりたいことが実現できる町だと感じている。宮代に住んでいる人は宮代町のことが大好きで色々なことを考えているということが今日のワークショップで再確認できた。日工大のキャンパスに芝刈りロボットがあることや人工カミナリをつくる機械があることなど知らなかったのも、色々大学とコラボできないかと思った。

(4) 基礎調査結果について

基礎調査結果について、事務局より資料2に基づき説明を行ったところ、以下のような疑義及び意見があった。

佐々木会長

5ページの農産物の出荷先のグラフについて、かなり増減が大きいように思う。特に「消費者に直接販売」は2010年から2015年の比較で半分程度になっているが、これはどういう理由か。

事務局

担当課に確認したところ、おそらく米の価格変動を踏まえて農協に出荷する方が増えたのではないかとと思われる。2010年から2015年までの

経営体数の増減としては、10 件程度の増しか見られないので、そういった部分の影響に関しては大きくないとみている。

佐々木会長
事務局

「消費者に直接販売」とは、いわゆる直売所のようなものなのか。

おそらく農家が知り合いに販売しているような、軒先販売のような形態を指すと思われる。巨峰なども新しい村で買うのではなく、直接軒先で売っているケースもあるのでそういったものも含まれる。

佐々木会長

先ほどのワークショップでも、紹介してもらえば直接巨峰やお米を買えると書いてあったが、そういうことか。最近はネットで直接販売するようなケースも増えてきていると思うが、そういったものではないのか。

事務局
難波委員

ネット販売ではない。

空き家の内訳について、他市町と比べて宮代町は賃貸用の住宅の比率が高くなっているが、家賃の相場はわかるか。

事務局

家賃の相場は具体的に把握していないが、東武線を下るにつれて家賃は安くなると思う。

春日部市と宮代町で比較すると、2 万円～2 万 5 千円くらいは違うのではないか。同じ条件であれば春日部で 10 万円くらいの物件が、宮代では 7 万 5 千円くらいで借りられるようなイメージである。

難波委員
事務局

賃貸物件として、ワンルームとファミリー向けではどちらが多いのか。どちらかというとな学生や単身者向けのワンルーム物件が多く、ファミリー向けは少ないと思われる。

佐々木会長

数年前に不動産屋に聞いたところでは、普通の賃貸は空きが少ないが、いわゆる家作と呼ばれるような平屋の古い賃貸が多いということだった。駅から 500m から 1,000m のところにある空き家の比率が多いということは、農家が空いた土地を使って建てているようなイメージと思われる。

八木橋委員

14 ページの右下のグラフについて、投資的経費が平成 29 年度は前年度の 2 倍になっているが、これは右の表のどれに当たるのか。

事務局

デジタル防災無線を導入した年に当たるため、その経費が大きいと思われるが、後ほど改めて正確な情報をお知らせする。

八木橋委員

9 ページの右下のグラフに「雇用者所得 285 億円」とあるが、この数字はどこからきているのか。

事務局

「分配（所得）」という棒グラフの「雇用者所得」の青い部分に当たる。

八木橋委員

上の文章には 677 億円とあり、285 億円は記載されていないように思うが。

事務局

677 億円は、地域内の 285 億円と地域外からの流入 392 億円の合計値である。

八木橋委員

付加価値額の 545 億円はどのように出てきているのか。

事務局

グラフに第 1 次産業の付加価値額が表示されていないが、これが 6 億円であり、第 2 次産業・第 3 次産業と合わせた額が 545 億円である。雇

用者所得に関しては、青い部分だけ取り出してその内訳をみている。

(5) その他

事務局より、「宮代町の長所、短所発見シート」について説明が行われた。(提出期限は7/31(水)まで)

(6) 閉会

以上